

ひょうごらくのうメモ

12

2025DEC



表紙： 令和7年度乳用初妊牛展示販売会

フルカラー版は組合ホームページから
ご覧いただけます。



発行： 兵庫県酪農農業協同組合

神戸市西区伊川谷町潤和1058

西神文化センター3階

生乳生産統計

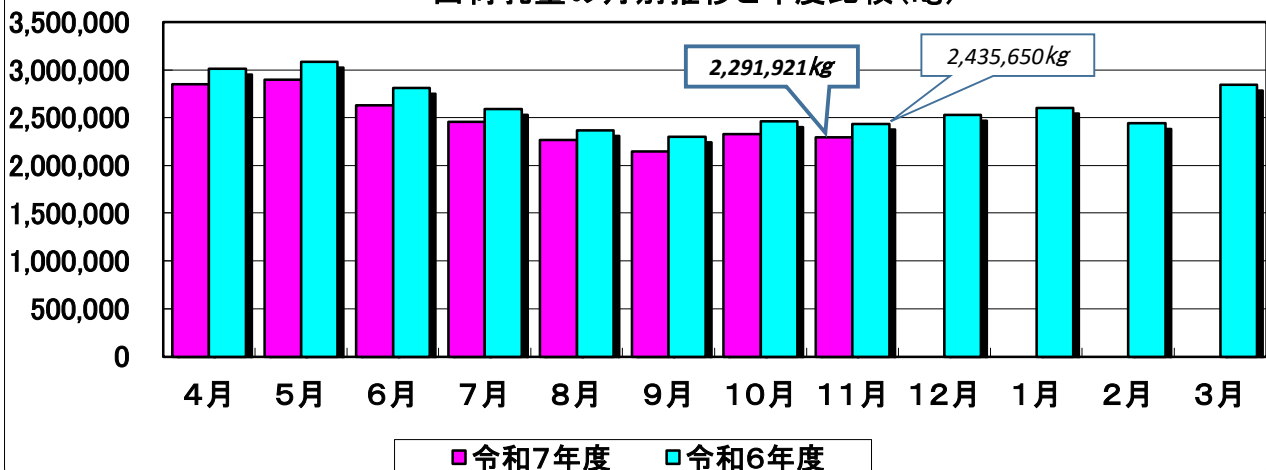
1. 全国(令和7年10月・農林水産省牛乳乳製品の生産動向より)

			生乳生産量 (千トン)	対前年比 (%)
令和	7年	4月	644.8	101.5
令和	7年	5月	663.4	101.2
令和	7年	6月	627.9	101.9
令和	7年	7月	613.8	101.2
令和	7年	8月	604.1	102.0
令和	7年	9月	580.4	100.2
令和	7年	10月	604.1	99.7
令和	7年	11月		
令和	7年	12月		
令和	8年	1月		
令和	8年	2月		
令和	8年	3月		
令和	7年度	累計	4,338.6	101.1

2. 兵庫県酪農協取扱い分(公共施設除く)

地 区	令和 7年 11月		年度累計		出荷農家 戸 数
	生乳生産量 (kg)	対前年比 (%)	生乳生産量 (kg)	対前年比 (%)	
阪神地区	399,620	90.7	3,451,314	90.4	16
播州地区	266,276	81.3	2,358,173	88.7	13
丹但地区	218,645	98.0	1,860,807	97.6	12
淡路地区	1,407,380	97.4	12,194,054	96.1	62
合 計	2,291,921	94.1	19,863,348	94.3	103

出荷乳量の月別推移と年度比較(kg)



理事会報告

令和7年12月3日(水)、第6回理事会を理事5名、監事2名の出席のもと開催した。組合長挨拶の後、令和7年度生乳計画生産進捗状況、令和7年度8月起点限定決算について報告し、次の事項を協議した。

- ①令和7年度上期決算状況について
- ②冬期賞与支給について
- ③複合機(リース物件)の入替変更について
- ④地区別懇談会・役員推薦委員選出会議について

【開催日程】

12月19日13:30 丹但地区別懇談会・推薦委員選出会議(青垣住民センター)
 12月23日 // 阪神・播州地区別懇談会・推薦委員選出会議(小野商工会議所)
 12月24日 // 淡路地区別懇談会・推薦委員選出会議(榎列公民館)
 出席の程、宜しくお願いします。

催事お知らせ

第63回淡路農林水産祭開催

淡路島の農林水産物の魅力PRを目的としたお祭りで、今回で第63回を迎えます。

当日は、淡路農林水産功労者や農林水産物等コンクール入賞者の表彰式、農林水産物の展示・即売等を開催します。

また、淡路島の農林水産業の発展や農林水産物の豊穰・豊漁の祈願も行われます。

日 時: 令和8年1月15日(木)10:00~15:30

場 所: 兵庫県淡路市多賀740 伊弉諾神宮境内

問い合わせ先: 淡路農林水産祭実行委員会事務局

(兵庫県淡路県民局洲本農林水産振興事務所 農政振興第2課)

TEL: 0799-26-2098 FAX: 0799-22-1443

◆ 主な行事予定 ◆

12月

15日 岩崎税理士・月次税務監査

19日 地区別懇談会・推薦委員選出会議(丹但)
(青垣住民センター)

23日 地区別懇談会・推薦委員選出会議
(阪神・播州)(小野商工会議所3階)

24日 地区別懇談会・推薦委員選出会議(淡路)
(榎列公民館)

兵庫県酪農肉用牛生産近代化計画有識者会議
(中央労働センター)

26日 仕事納め・大掃除

1月

5日 仕事始め・職員会議

14日 近畿生乳販連・理事会(WEB)

15日 第63回淡路農林漁業祭(伊弉諾神宮)

※ 年末年始休業 12月27日~1月4日

近畿生乳販連主催・ HighQualityMilkAward2025

堀部浩二氏、HighQualityMilkAward 2025 にて最優秀賞を受賞！
～「働き方改革」と「楽しい酪農」で掴んだ栄冠～

去る11月9日(日)、千里が丘の万博記念公園で開催された「ABC ラジオまつり 2025」内において、近畿生乳販売農業協同組合連合会主催の「HighQualityMilkAward 2025」が盛大に行われました。
当日はあいにくの雨模様でしたが、会場には14,000人もの方々が来場し、熱気に包まれました。

■ 組合から久々の「最優秀賞」誕生

乳質や牛舎の衛生環境など、極めて厳格な基準をクリアした生産者のみがノミネートされるこのアワードにおいて、当組合の堀部浩二氏が、最高栄誉である「最優秀賞」を受賞されました。
平成30年度以降、当組合からは受賞者が出ない状況が長らく続いておりましたが、今回の堀部氏の受賞は、組合にとっても久々の快挙となりました。

■ 「もう一つ上がある」一昨年の雪辱を果たす

堀部氏は一昨年(令和5年)にも同アワードにて「優秀賞」を受賞されています。しかし当時は、喜びよりも「(優秀賞の) もう一つ上があるから」と、最優秀賞を逃した無念さを滲ませておられました。その言葉通り、前回の指摘事項の改善に真摯に取り組み、本年8月の現地確認審査では「見事に改善されている」との高評価を獲得。2年越しの有言実行を果たされました。



現地審査風景

■ 受賞の秘訣は「働き方改革」と「楽しい酪農」

なぜ、これほど質の高い管理が継続できたのか。その秘訣は、堀部氏が実践する「次世代のための環境づくり」にありました。

堀部氏は「今の若い世代のためにも、時間にきっちりとした酪農が必要」と語り、「朝 6 時半・夜 6 時の搾乳時間を厳守」「実働 8 時間以内」というルールを徹底されています。

厳しいと言われる酪農の世界であっても、あえて「働きやすい環境」を整えること。そして、恩師の教えである「酪農の“楽”は、“楽しい”と書く。楽しい酪農家になれ」という言葉を体現し、心に余裕を持って牛と向き合ったことが、今回の受賞に繋がりました。



ラジオ祭りイベント内生CM出演風景

■ 「牛乳の美味しさは、酪農家の仕事そのもの」

プレゼンターを務めた、雪印メグミルク株式会社 西日本酪農事務所の能瀬課長からは、生産者への敬意と共に、牛乳の本質について次のような言葉がありました。

「牛乳パックの中身は、酪農家の皆様が搾った生乳を殺菌して詰めたもの。つまり、酪農家さんのところの風味がそのまま、ダイレクトに製品になっているということです」

堀部氏の丁寧な仕事が、そのまま「おいしさ」として消費者に届いていることが強調されました。また、能瀬課長は消費低迷を憂慮し、「酪農家を応援する気持ちで、ぜひ牛乳をたくさん飲んでほしい」と、会場の 14,000 人の来場者に強く呼びかけられました。



雪印メグミルク能瀬課長より最優秀賞授与の風景

■ 困難を乗り越え、未来へ

本大会は、大阪での製品回収事故の影響で開催自体が危ぶまれる局面もありました。しかし、近畿生乳販連と協力し、信頼回復に努めることで開催できたこの舞台での受賞は、感慨深いものがあります。

堀部氏は最後に、「我々の組合から（自分に続く）最優秀賞受賞を目指してがんばって欲しい」と、仲間へのエールを送られました。

当組合といたしましても、堀部氏の実践する「楽しい酪農」をモデルとし、さらなる良質乳生産に向け一丸となって取り組んでまいります。

＜＜近畿生乳検査所より年末年始検査業務のお知らせ＞＞

1. 検査業務

- サンプル受付終了・・・令和7年12月26日(金)10:30持込分迄
- サンプル受付開始・・・令和8年1月5日(月)9:00より(通常業務)

2. PAG検査

- 受付終了・・・令和7年12月26日10:30持込分迄
 - 受付開始・・・令和8年1月5日(月)9:00より(通常業務)
- ※令和8年1月6日(火)はPAG検査実施予定です。

参考情報

淡路家畜市場情報

令和7年11月第2金曜日

			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
F1 スモール	メス	今回	19	147,632	198,000	81,400			57		
		前回	19	132,347	201,300	22,000			56	15,285	11.5%
		前年	12	93,317	133,100	52,800			57	54,315	58.2%
	オス	今回	26	153,112	216,700	1,100			59		
		前回	18	147,156	225,500	60,500			56	5,956	4.0%
		前年	16	93,019	176,000	33,000			56	60,093	64.6%
	去勢	今回									
		前回									
		前年									

			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
ホルス スモール	メス	今回									
		前回									
		前年									
	オス	今回	1	2,200	2,200	2,200			50		
		前回	3	17,967	25,300	7,700			48	-15,767	-87.8%
		前年	4	10,175	18,700	4,400			55	-7,975	-78.4%
	去勢	今回									
		前回									
		前年									

* 前は令和7年10月第4金曜日・前年は令和6年11月第2金曜日

令和7年11月第4金曜日

			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
F1 スモール	メス	今回	13	163,646	216,700	80,300			62		
		前回	19	147,632	198,000	81,400			57	16,014	10.8%
		前年	17	92,206	180,400	1,100			52	71,440	77.5%
	オス	今回	18	190,483	255,200	132,000			60		
		前回	26	153,112	216,700	1,100			59	37,371	24.4%
		前年	23	106,461	223,300	1,100			55	84,022	78.9%
	去勢	今回									
		前回									
		前年									

			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
ホルス スモール	メス	今回									
		前回									
		前年									
	オス	今回	1	33,000	33,000	33,000			50		
		前回	1	2,200	2,200	2,200			50	30,800	1400.0%
		前年	5	1,100	1,100	1,100			49	31,900	2900.0%
	去勢	今回									
		前回									
		前年									

* 前は令和7年11月第2金曜日・前年は令和6年11月第4金曜日

隣県家畜市場情報

乳用種(雄のみ)

年 月	岡山総合		広島・三次		徳島畜産センター		平均・合計(全国)	
	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数
4年次	61,056	878	68,011	1,060	60,809	224	70,776	85,621
5年次	29,220	543	34,615	1,067	23,993	117	50,602	71,669
6年次	33,585	464	32,402	1,042	32,296	50	47,081	65,478
6	1	30,056	34	38,463	90	取引なし	46,203	5,796
	2	33,259	34	33,658	92	14,300	46,549	5,562
	3	36,770	49	29,348	103	31,625	50,541	5,500
	4	42,848	42	34,354	78	41,800	64,268	5,843
	5	45,385	27	39,921	87	71,989	89,493	4,627
	6	62,924	54	63,092	59	75,900	128,836	4,102
	7	72,515	13	66,370	64	42,460	77,057	5,333
	8	40,288	40	38,341	86	取引なし	21,444	5,951
	9	20,618	39	22,641	92	10,560	16,885	5,533
	10	10,310	51	13,786	115	4,840	16,303	6,355
	11	15,636	42	18,724	79	2,200	18,892	5,502
	12	17,064	39	16,637	97	7,071	22,413	5,374
7	1	16,067	33	20,782	84	取引なし	27,344	5,796
	2	23,257	35	24,903	76	1,100	42,173	5,025
	3	29,838	40	30,755	74	16,500	68,621	5,487
	4	76,696	112	67,711	27	29,700	86,848	5,787
	5	62,984	31	67,442	38	32,175	104,366	4,564
	6	80,911	18	90,035	25	31,900	119,074	4,568
	7	78,232	25	125,788	34		83,086	5,711
	8	48,251	37	47,139	57	38,500	42,988	5,630
	9	46,536	72	35,468	49	2,200	41,130	6,108
	10	48,919	53	35,897	52	39,325	41,860	5,696
	11	49,350	44	38,740	51	30,388	51,451	5,001
	12							

交雑種・乳

年 月	岡山総合		広島・三次		徳島畜産センター		平均・合計(全国)		
	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	
4年次	157,307	6,259	149,060	3,820	190,213	1,918	135,855	174,435	
5年次	122,559	6,136	118,800	3,797	164,470	1,740	94,892	180,638	
6年次	128,605	5,764	133,192	4,175	175,217	1,401	112,269	174,340	
6	1	96,405	549	93,851	244	116,838	139	71,742	15,916
	2	105,955	496	106,128	402	139,177	143	89,564	15,252
	3	124,959	434	118,804	294	172,915	128	107,578	14,641
	4	149,621	580	155,327	325	203,810	117	127,307	14,983
	5	209,525	369	188,358	362	212,019	125	165,311	13,062
	6	243,157	309	233,689	268	236,406	105	207,580	10,699
	7	202,896	390	199,813	270	251,198	83	169,484	13,621
	8	127,372	371	137,538	354	209,105	94	96,371	14,272
	9	110,706	583	127,049	388	169,291	101	87,532	15,289
	10	78,990	627	94,268	492	137,013	104	77,530	17,498
	11	85,004	467	90,266	382	144,203	128	88,472	14,687
	12	105,577	589	105,319	394	162,103	134	105,694	14,420
7	1	113,308	535	120,105	322	187,600	134	112,008	14,837
	2	143,766	573	150,335	324	230,056	120	158,652	13,048
	3	176,271	565	171,449	295	215,955	130	194,356	12,757
	4	223,428	525	232,287	311	262,511	130	218,663	13,432
	5	261,174	453	254,719	361	294,911	99	238,092	11,864
	6	299,867	333	297,813	243	345,779	87	262,505	10,365
	7	301,814	430	297,328	352	374,034	66	241,430	12,627
	8	268,665	386	251,341	354	339,621	71	192,008	13,281
	9	214,669	702	232,794	426	318,175	112	180,789	15,501
	10	163,732	616	166,400	470	251,849	107	169,106	16,309
	11	160,287	597	170,979	358	229,957	115	161,995	15,533
	12								

※ 生後60日齢までの情報になっておりますので、ご注意ください。

令和7年11月乳牛市場成績

頭：千円：税込													
市場名	開催日	育成牛（牝・牝系・他）				初妊牛（牝・牝系・他）				経産牛（牝・牝系・他）			
		成立頭数	最高値	最低値	平均値	成立頭数	最高値	最低値	平均値	成立頭数	最高値	最低値	平均値
根 室	11/6					297	920	242	588	2	380	372	376
釧 路	11/7	246	377	75	218								
十 勝	11/10					601	1,430	248	629	54	864	255	609
十 勝	11/13	715	513	11	259								
南北海道	11/14	55	329	34	175	105	782	230	496	20	535	74	361
豊 富	11/21					373	799	235	517	6	349	312	335
釧 路	11/24					337	965	110	558	3	439	414	430
十 勝	11/25					584	1,258	201	642	76	938	220	592
北 見	11/26					394	1,109	198	552	7	550	220	374
根 室	11/27					385	950	275	566				
豊 富	11/28	222	430	110	231								
合 計	11回	1,238	513	11	242	3,076	1,430	110	584	168	938	74	546

前 年 同 月 成 績	11回	1,188	400	14	208	3,031	993	165	506	191	682	118	377
前 月 合 計 成 績	12回	1,587	517	10	236	2,522	1,451	79	602	171	959	103	462

ホクレン乳牛市場開催日程

12月 5日(金)	ホクレン北見地区総合家畜市場（佐呂間）育成	1月13日(火)	ホクレン十勝地区家畜市場（音 更）
12月8日(月)・9日(火)	ホクレン十勝地区家畜市場（音 更）	1月15日(木)	ホクレン十勝地区家畜市場（音 更）育成
12月11日(木)	ホクレン十勝地区家畜市場（音 更）育成	1月16日(金)	ホクレン南北海道家畜市場（安 平）
12月12日(金)	ホクレン南北海道家畜市場（安 平）	1月19日(月)	ホクレン根室地区家畜市場（中標津）
12月15日(月)	ホクレン北見地区総合家畜市場（佐呂間）	1月20日(火)	ホクレン釧路地区家畜市場（大楽毛）
12月19日(金)	ホクレン豊富地域家畜市場（豊 富）	1月23日(金)	ホクレン豊富地域家畜市場（豊 富）
12月22日(月)	ホクレン根室地区家畜市場（中標津）	1月26日(月)	ホクレン北見地区総合家畜市場（佐呂間）
12月23日(火)	ホクレン釧路地区家畜市場（大楽毛）	1月27日(火)	ホクレン十勝地区家畜市場（音 更）

ホクレン家畜市場所在地及び担当支所（問合せ先）

市場名	市場所在地	電話番号	担当支所・課	電話番号
南北海道家畜市場	勇払郡安平町早来新栄4番地	0145-22-4109	苫小牧支所 酪農課	0144-36-1431
豊富地域家畜市場	天塩郡豊富町上サロベツ569番地の1	0162-82-3150	稚内支所 酪農課	0162-34-2131
十勝地区家畜市場	河東郡音更町字音更西2線3-1	0155-42-2231	帯広支所 酪農課	0155-42-2231
北見地区総合家畜市場	常呂郡佐呂間町西富127番地2	01587-2-2689	北見支所 酪農課	0157-23-9003
釧路地区家畜市場	釧路市大楽毛86番地1	0154-57-8457	釧路支所 酪農課	0154-23-6163
根室地区家畜市場	標津郡中標津町南中10番2	0153-72-1366	中標津支所 酪農課	0153-72-9967
ホクレン本所 酪農部 家畜販売課	札幌市中央区北4条西1丁目3番地	011-232-6188		

☆家畜車の手配につきましても、各市場担当課にて承っておりますのでご相談下さい。

北海道乳牛産地情報

(令和7年12月1日現在)

事務所	畜種	相場(万円)	価格状況	管内状況
札幌管内	育成牛(10-12月令)	2.0～3.0	横張り	札幌管内の11月中旬までの生乳生産量前年比は、函館管内が月計95.7%・累計120.9%、苫小牧管内が月計96.4%・累計99.4%となっております。
	初妊牛	5.8～6.8	横張り	12月の初妊牛動向としては、2月～3月中旬分岐が中心となります。初妊牛については、春分岐も出回り始めるため、道内外で需要があると考えられ、価格は以前に推移すると見込まれます。順調の出回り資源状況については、雌雄選別販、F1販ともに潤利にある状況です。和牛受精卵販売につきましても出回りはあります。高ダラム牛の出回りも増えております。高能力牛の初妊牛販売が多い地域でもありますが、引き継ぎ注目をいたさすようお願いいたします。
	経産牛	3.5～4.5	横張り	根拠管内の11月中旬までの生乳生産量前年比は、釧路管内が月計100.3%・累計103.1%、中標津管内が月計98.3%・累計101.0%となっております。12月の初妊牛動向としては、2月下旬～3月中旬分岐が中心となります。価格帯につきましては、先月に引き継ぎ横張りとなっており安すが、貴重な春分岐にもかかるため引き合いは強くなる可能性があります。順調では、F1販・和牛受精卵販売が順調に推移しております。雌雄選別販に固まっています。中ダラム以上の牛は一定の引き合いがあります。F1販・和牛受精卵販売と価格を比較すると感嘆に推移しております。育成牛の価格は順含みで推移し、経産牛については即戦力となる牛は引き合いが強くなると見込まれます。
帯広管内	育成牛(10-12月令)	2.5～3.5	強含み	帯広管内の11月中旬までの生乳生産量前年比は、月計100.3%・累計102.9%となっております。
	初妊牛	5.8～6.8	横張り	12月の初妊牛動向としては、2月～3月中旬分岐が中心となります。初妊牛については、春分岐が出回り始める時期となり、道内外からの需要が見込まれます。需要が高まっていることが予想されますので、価格については順調に推移する見込みです。順調の資源状況については、雌雄選別販とF1販が多い地域で空があります。とくに調利にある状況です。また、経産牛については、道内からの引き合いが非常に強く、先月同様に強含みが予想されます。育成牛については、生まれ月により差はありますが、来年度夏産、春分岐に期待できる育成牛は、強含みで推移するものと見込まれます。
	経産牛	4.0～5.0	横張り	道北管内の11月中旬までの生乳生産量前年比は、釧路管内が月計102.0%・累計101.1%、北見管内が月計99.5%・累計101.7%となっております。
道北管内	育成牛(10-12月令)	2.0～3.0	横張り	12月の初妊牛動向としては、2月下旬～3月中旬分岐が中心となり、冬分岐中心となります。順調の中回り資源状況については、雌雄選別販、F1販ともに資源は豊富にあり、頭数を確保できる状況です。平年に向けて需要は落ちるを見せ、山回り頭数も豊富なことから、相場につきましてもやや弱含みで推移すると思われまます。経産牛については、乳備上がにより秋1かけで即戦力牛の需要が高まると見込まれ、価格は順調に推移し順調で推移する見込みです。
	初妊牛	5.3～6.3	やや弱含み	道内全体の11月中旬までの生乳生産量前年比は月計99.8%・累計101.9%となっております。
	経産牛	3.5～4.5	横張り	12月の初妊牛動向としては、春分岐に差し掛かる牛が取り上げられることから、引き合いは徐々に強まるものと考えられます。道内の資源状況としては、地域差はあるものの、自家保有的傾向が強いことから、自家保有の傾向は抑制された状況で推移するものと考えられます。例に、年末は相場が一足落ちる、生明けから引き合いが強くなる傾向にあることから、都農の順含みにおかれましては、北海道からの導入予定や資源確保の意向がありまします。年末での購買を強くお勧めいたします。
道内総括	育成牛(10-12月令)	2.5～3.5	強含み	
	初妊牛	5.8～6.8	横張り	
	経産牛	3.5～4.5	横張り	

※上記相場は、血統登録牛(中ダラム)の産乳選育購買による予想相場です。

産乳選育購買のため、市場購買とは異なります。

全道乳牛産地協同組合連合会(全乳連)

札幌支所
011-241-0765

《各事務所電話番号》
釧路事務所 054)52-1232
根釧管内事務所 053)76-1877
帯広事務所 055)37-6051
道北事務所 0564)2-2368

各農、乳牛購買事業に大変ご寄力を賜り厚くお礼申し上げます。
乳牛の購入計画がありましたら、最寄りの支所へご相談ください。
担当者がお伺いし、最近の状況を説明し、納得いただけるよう購買のお手伝いを致します。
また、購買家の簡便・買取処理は責任を持って最寄りの支所と札幌支所がお世話を申し上げます。

令和7年12月10日

輸 入 粗 飼 料 の 情 勢

全酪連大阪支所
酪農生産研究会

北米コンテナ船情勢

北米西海岸を中心とする航路では、年末商戦に向けた貨物の増加や船腹スペースの減少により滞船が発生し、本船スケジュールに乱れが生じています。11月下旬にロサンゼルス港停泊中の本船にて火災が発生した影響により、一部の貨物がスケジュールに間に合わず、船積の遅延も発生しています。

また11月上旬の台風の影響で東南アジア周辺の港で作業が遅れていることや、年末に向けて中国の主要港で船腹予約も増加していることもあり、船腹スペースは逼迫しており遅延に拍車を掛けています。

10月30日に韓国で行われた米中貿易協議では、追加関税停止措置を2026年11月10日まで延長することで合意しました。この措置により、短期的な運賃上昇は抑制される見込みで、2026年は貨物量に一定の動きが出てくる可能性があります。米中対立による世界市場の混乱は一時的に落ち着きを見せつつありますが、交渉の行方次第では駆け込み需要や市場の混乱が再び起きることが懸念されているため、注視が必要です。

ビートパルプ

主産地のミシガン州では、一部の地域に降雨被害がありましたが、25-26年産の収穫作業は終了しており、製糖の製造作業も終盤に差し掛かっています。依然として、欧州やメキシコ、米国内での需要も堅調に推移しています。

アルファルファ

【ワシントン州】

主産地であるワシントン州コロンビアベースンでは、25年産の収穫作業が終了しています。25年産を振り返ると、1番刈は春先の生育に適した冷涼な気候や好天に恵まれましたが、収穫期に降雨被害が発生したことで、上級品の発生は限定的となりました。2番刈については、好天に恵まれたことにより色目が良好な上級品の発生が中心となりました。3～4番刈は降雨被害や山火事による煙の影響を受け中～低級品が多く収穫されました。

産地相場については、低調な需要が続いておりましたが、中東や中国、韓国から引き合いが増えてきており堅調に推移しています。

【オレゴン州】

主産地であるオレゴン州クラマスフォールズでは25年産の収穫作業が終了しています。25年産を振り返ると、1～3番刈の収穫期に降雨が発生したことで、一部の圃場で雨あたりの被害がありましたが、降雨を避けて収穫した圃場では中級品中心、降雨被害前に収穫を終えた圃場では上級品が中心となりました。

同州中部クリスマスバレーでも25年産の生産を終えています。例年、7月上旬には1番刈の収穫作業が終了しますが、今シーズンは降雨の影響もあり、7月中～下旬まで収穫が続きました。全体を通して収穫時期に局地的な降雨や暴風雨があったことから上級品の発生は限定的となりました。

【カリフォルニア州】

カリフォルニア州南部のインペリアルバレーでは、DIP（休耕地政策）を行っていない圃場で収穫作業が続いています。現在までの収穫を振り返ると、1番刈は昨年のDIPの影響で、枯れきった茎が混入した圃場もありましたが、色目が綺麗な高成分な品質が多く収穫され、主に中東や米国内酪農家向けに出荷されました。

1番刈以降については、気温や湿度の上昇に伴い、成分値が下がり始めたことで、茎が細い過乾燥なサマーヘイの発生が中心となりました。

灌漑局の発表によると、11月15日時点でのアルファルファの作付面積は154,926エーカーとなっており、前年同期の149,964エーカーからやや増加しています。

米国産チモシー

主産地であるワシントン州コロンビアベースンおよびエレンズバーグでは25年産の収穫作業が終了しています。1番刈は上級品の発生が中心となり、中～低級品の発生は限定的となりました。2番刈についても天候に恵まれたことで、上級品の発生が中心となりましたが、収穫が進むにつれ降雨も発生し、中～低級品も発生しました。

カナダ産チモシーの上級品が限定的となったことから産地在庫の売約も進み、需要は堅調に推移しています。

スーダングラス

主産地であるカリフォルニア州南部インペリアルバレーでは、25年産の収穫作業が終了しています。一部の輸出業者が保有していた旧穀在庫も解消されたことにより、

25年産の作付面積は増加しましたが、産地相場の低迷が続き、生産農家の作付意欲が低下したため、2番刈を行わず1番刈で収穫を終了し、秋野菜の生産に備える圃場が多く見られました。収穫された1番刈は好天に恵まれたため、上～中級品の発生が中心となりました。2番刈については夏のモンスーン（季節風）による降雨もあり、影響を受けた牧草は輸出向けには適さないため、米国内向けに出荷されました。

灌漑局によると、11月15日時点でのスーダングラスの作付面積は6,423エーカーで、前年同期の1,233エーカーから増加しています。

クレイングラス（クレインは全酪連の登録商標です）

主産地であるカリフォルニア州南部インペリアルバレーでは、25年産の収穫作業が終了しています。昨年のDIPの影響により、雑草が混入した中～低級品も一部の圃場で発生しましたが、年間を通して、葉付きが良く、色目が綺麗な上級品が多く収穫されました。DIP終了後に収穫された圃場では、茎が固く茶葉が多い低級品の発生が中心となりました。26年産でも継続してDIPが実施される見込みのため、作付面積はやや増加し、生産量は減少すると予想されています。

灌漑局の発表によると、2025年11月15日時点でのクレイングラスの作付面積は25,021エーカーとなっており、前年同期の22,834エーカーから増加しています。

韓国では先月に引き続き自給飼料が不足していることに加え、日本からの需要も旺盛のため、堅調に推移しています。

バミューダ

主産地であるカリフォルニア州インペリアルバレーでは25年産の収穫作業が終了しています。2025年11月15日時点での作付面積は87,841エーカーとなっており、前年同期の78,087エーカーから増加しています。先月に引き続き、安価な繊維源として需要は堅調に推移しています。

カナダ産チモシー

主産地であるアルバータ州南部レスブリッジ地区では、2番刈の収穫作業が終了し、25年産の収穫作業が終了しています。25年産の1番刈は8月下旬に収穫が終了しましたが、断続的な降雨の影響を受け、上級品の発生は限定的となりました。2番刈についても不安定な天候の影響もあり圃場での乾燥に時間を要していたことで、輸出に向かない品質も発生しています。そのため、産地では馬糧向けとの買付競争も激化しており、需要は堅調に推移しています。

豪州産オーツハイ・ウィートストロー

西豪州：

西豪州の収穫作業は終了しています。収穫作業中に降雨の影響を受けた圃場もあり低級品の発生もありますが、生育期間中の好天や適度な降雨に恵まれたことにより、上級品～中級品の中心となっています。ウィートストローについては収穫作業が中盤を迎えています。

南豪州：

南豪州の収穫作業は終了しています。昨年は干ばつの影響を受け、輸出向けに適さない品質が大半となりました。今年は適度な降雨もあり順調に生育が進んでおりましたが、収穫終盤に降雨があり、中級品が発生しています。降雨を逃れた収穫の前半では見た目が綺麗で分析値が高い品質も多く収穫されています。収量については昨年対比で大幅に増加しましたが、例年と比較するとやや下回っています。

東豪州：

例年では収穫作業が終了している時期ですが、断続的な降雨の影響で、収穫作業が遅れています。収穫期序盤の降雨を逃れた圃場では見た目が綺麗な上級品が発生していますが、現在も収穫出来ていない圃場については輸出向けに適さない低級品となる見通しです。

今後も断続的に降雨予報も出ており、豪州国内の酪農家からの需要も堅調に推移しているため動向には注視が必要です。



左：25年産オーツハイ上級品：東豪州

右：25年産オーツハイ低級品：西豪州

（11月下旬：豪州にて撮影）

以上